

## 令和4年(2022年)11月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年11月 数量 (トン)	2022年11月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	千葉県産・神奈川県産中心の入荷でした。大型野菜の動き良かったため、入荷量は大幅に増加しました。平均単価もかなり高く推移しました。	701	84	152%	147%
2		はくさい	茨城県産・中心の入荷でした。順調な入荷が続き、数量は増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	853	66	119%	147%
3		きゅうり	宮崎県産を中心に群馬県産・埼玉県産入荷でした。重油高の影響で加温作型が減少したため、入荷量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	268	330	86%	113%
4		ねぎ	東北産・北海道産中心の入荷でした。天候不順の影響で入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	214	298	78%	127%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。前年が作柄不良だったため入荷量が平年並みに戻り、前年比較では数量はかなり増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	563	101	131%	57%
6	果実	みかん	極早生、早生みかんの入荷は順調だったが、普通みかんの生育の遅れがあり、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	943	298	95%	106%
7		りんご	前年より生産量が増加したこともあり、入荷量はやや増加しました。平均単価は安く推移しました。	308	304	104%	84%
8		かき	天候の影響で生育の遅れがみられたものの、入荷量は前年並みで推移しました。平均単価はかなり安く推移しました。	274	250	98%	70%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上